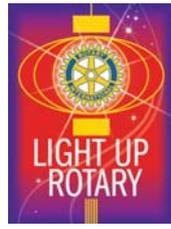




2014～15 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

Weekly Report Niigata



ロータリーに輝きを

2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ



2014～15 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹

新潟 RC4月第 1 例会 (2015.4.7) No.3082

(1) 「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 高橋 秀樹会長挨拶

さて、今日の例会は予定が満載でありますので、会長挨拶はやや短くして、ちょっとしたトリビアを紹介することにしようと思います。

このところの会長挨拶では、鳥や草花など自然に関する話が続きましたが、これらはみな天地の間に息づくものであります。さて、そこで考えて頂きたいのですが、もし言葉の通じない相手に、天や地を絵で表現して伝えて下さいと言われたら、みなさんはどのような絵をお描きになるでしょうか。

もちろん、人によって表現は様々で正解というものは無いのですが、ここでちょっとおもしろいのが、一種の絵文字としてできてきた漢字の、天や地という字の成り立ちであります。

天という字は、人の正面を表す形の上に大きな●を付けて、頭頂を示し、そこから人の頭上にあるもの、つまり天を意味しました。他方、地という字の最も古い形は、神様が上から下りてくる梯子、捧げる犠牲の獣、土を組み合わせたものでした。つまり、高みにおられる神様に人間のもとに降りてもらい、お祀りする場所を表したもので、その場所がすなわち大地という意味でありました。つまり、天にしても地にしても、それらが人間にとって何なのか、という観点から表現されているのが、漢字における天と地なわけです。

ところで、絵文字として発達した文字体系としてよく知られたものとしては、他にも古代エジプトの神聖文字(ヒエログリフ)があります。ヒエログリフの天を表す文字はベトと発音しますが、大きく広がる蓋の形を表現しています。また、地を表す文字はタアと発音しますが、平たく広がる大地の平面と三つの砂粒を表現しています。つまり、天にしても地にしても、人間と切り離して考え、そのもの自体の形を表現しようとしたのが、ヒエログリフにおける天と地になっています。

同じように絵文字でありながら、一方には人間にとっての都合を前面に押し出したものがあり、他方にはそのもの自体の様子を前面に押し出したものがある、発想の根本が全く異なります。つまり、文化が異なると、同じように天を仰ぎ、同じように大地を踏みしめていても、頭の中にあることはまったく異なるとい

うことなのです。

天や地といふどこにでもあるものでさえ、この有様なわけですから、日常生活のありとあらゆる事柄について、心の奥底にある感じ方・考え方の違いは膨大にかつ深く広がっているはずで、このところグローバル化や国際化という情勢の中で、国家間の相互の利益を推進するために、そしてまた様々な紛争や国際的問題を解決する土台を築くために、相互理解や文化交流を急速に進めるよう唱えられています。確かにそれらは絶対に必要なことでありますが、しかし、短い時間で本当にわかり合うことは、そう簡単なことではないはずで、粘り強い継続的な努力が無くては決して成功しないでしょう。

その点で、ロータリーが果たしてきた役割は決して小さいものではありません。米山奨学生、青少年交換、ロータリー財団奨学生、例会での卓話など、それぞれの地域に密着しながら行われてきた努力は、一つ一つは小さなものであっても、全体として大きな数になり、数十年にわたって継続されてきた粘り強い活動です。みなさんがそれぞれのお立場で行っておられるであろう国際交流の御活動とともに、これから益々その重要性を増すことでしょう。今後とも、ロータリーで、また、それぞれのお立場で、国際交流について一層のご理解・ご支援があることを願う次第です。本日の会長挨拶は以上です。

(3) 米山奨学生 朴 治国さん挨拶・奨学金贈呈

(4) 100%出席バッチの贈呈

岡田 茂久君	1年	織戸 潔君	3年
細野 義彦君	5年	田中 克典君	5年
高橋 清文君	7年	佐藤 紳一君	14年
柴田 史郎君	15年		

(5) 誕生日お祝い贈呈(9名)

(6) 結婚記念日お祝いの紹介(9名)

(7) 委員会報告

・高橋清文地区ローターアクト委員長より RA 主催やすらぎ堤川まつり フリーマーケットへの物品提供のお願い

この度ローターアクトクラブでは、新潟・新潟南両クラブ合同行事としまして(信濃川感謝祭2015 やすらぎ堤川まつり)におけるフリーマーケットへの参加を計画しました。

目的は東日本大震災の復興支援金としての寄付金です。ご提供頂く物品については日用雑貨・衣料品等何でも結構ですのでご協力のほど宜しくお願いします。尚、回収方法につきましては例会時にお持ち頂くかイタリア軒さまのフロントへお出し頂けたら幸いです。開催予定日は5月3日です。

(8) 各種ご寄付の発表

青少年育成基金寄付発表(小林 敬直副委員長)

高橋 清文君 高橋 義明君

(9) ニコニコボックス紹介(村松 敦委員)

・坂井 賢一君 3月に結婚記念のお花いただきありがとうございました。また二人でニコニコと楽しく歩んでいます。感謝します。

・高橋 秀松君 昨日、隣保館保育園の入園式に出席いたしました。ふと横を見ると、使っているピアノに新潟ロータリークラブ寄贈と書いてありました。昭和45年頃、頂いたようです。遅ればせながら、ありがとうございました。

・鈴木 滋弥君 何年ぶりかでロータリーバッジを忘れました。SAAのお叱りを受ける前に・・・。

・山本 正治君 無事、入学式の式典を終えました。今年 は入学生1060名。参加者総数は2800人でした。これで学長としてのメインイベントである卒業式と入学式を終えました。学長挨拶の内容は両方ともNHKの番組から借用しました。ここであらためて御礼を申し上げます。内容は大学ホームページに載せました。

(10) 幹事報告(安藤 栄寿幹事)

・前橋クラブとの合同観桜例会に参加される方は例会終了後ホテル前からバスが出ますので、ご乗車願います。

(11) 卓話

「農商工連携による「いもジェンヌ」プロジェクト」

JA新潟みらい西営農センター 中野正憲 氏



(12) 本日の出席率 76.60%

会員数96名(出席免除会員 7名)

出席者72名(出席免除会員5名を含む)

(2週間前メーク後 87.37%)

4月7日 理事会報告 出席者12名

1 入会被推薦者について=承認
キリンビールマーケティング新潟支社支社長 山本 康仁君

白根大通病院院長 新田 幸壽君
2 青少年育成基金について
推薦があった清心女子校、都立芸術高校生徒は今年度は見送りとし、ロータリー保育園に50万円を贈呈する。75周年に合わせて基金からの支出可能金額に会から13万円ほどを追加。

→基金本体は多額のまま手つかずにあるので、ワーキンググループを設けて基金設置規則について検討する。

期限：次次年度に向けて

検討メンバー：基金管理委員会委員長(現、次年度)、青少年奉仕委員会委員長、会長・幹事(現、次年度)、次次年度会長候補

3 青少年奉仕の夕べ(2015.5.27開催)

→総勢70名程度を想定。メークアップ扱いを了承。

4 創立75周年式典について

→現在150名出席

5 4月のプログラム

4月7日 卓話 農商工連携による「いもジェンヌ」プロジェクト(仮題)

JA新潟みらい 西営農センター 中野正憲 氏

4月14日 75周年記念観桜例会 17:30開会 イタリア軒

4月21日 会員スピーチ

東日本電信電話(株)新潟支店 村松 敦支店長

4月28日 卓話「ドーバー海峡横断に向けて(仮)」

(有)田中新聞店 代表取締役 田中 縁(ゆかり)氏
→理事会了承

6 その他

① 探鳥会(2015.4.18) 子供25名、会員6名参加予定

4月14日の例会予定

75周年記念観桜例会

17:30～ ホテルイタリア軒